

## 平成 29 年度森林税活用事業実績見込み

事業名	事業内容	H28 実績	H29 見込	対前年比	
<b>求められる機能に応じた里山等の森林づくりの推進</b>					
活用事業 1	【間伐実行】 みんなで支える里山整備事業	集落周辺の、小規模・分散的で手入れの遅れた里山の森林を中心に、間伐を面的に推進する。 事業主体：市町村、森林組合、NPO 法人等	64.39ha [22,797]	48.32ha [13,943]	75% [61%]
	【条件整備】 地域で進める里山集約化事業	荒廃が進んでいる里山の森林整備を図るため、区や集落などの地域が主体となり、森林所有者から施業同意を得る取組みについて、支援する。 事業主体：森林所有者で構成する協議会、森林組合等	—	—	—
	【市町村支援】 森林づくり推進支援金	森林づくり県民税を活用して、森林整備の推進や間伐材の利用促進など市町村固有の課題に対する取組みを支援する。 事業主体：市町村	12 件 [19,192]	12 件 [20,342]	100% [106%]
	【水源林保全】 水源林公有林化支援事業	市町村が森林内の水源及び水源林の公的管理を図る上で、土地等の取得が必要となった場合の取得経費を支援する。 事業主体：市町村	0.57ha [578]	—	0% [0%]
<b>間伐材の利活用等による継続的な森林づくりの推進</b>					
活用事業 2	【間伐材搬出】 みんなで支える里山整備事業(搬出支援)	集落をあげて間伐を実施した間伐材を山土場まで搬出・集積する作業を支援する。 事業主体：市町村、森林組合、NPO 法人等	38m3 [133]	26m3 [91]	68% [68%]
	【間伐材利用】 信州の木活用モデル地域支援事業	里山の森林資源を活用する先進的なモデル地区を支援することにより、森林資源の持続的活用を図る。 事業主体：林業関係団体、企業、NPO 法人等	—	3 件 [7,500]	皆増
	【人材育成】 信州フォレストコンダクター(SFC)活動支援事業	放置されている松くい虫被害目を地域が主体となり木質バイオマス燃料等に資源化して利活用することで森林を再生するとともに、地域資源の有効活用に結び付ける。 事業主体：市町村、森林組合、NPO 法人等	—	1 件 [2,500]	皆増
【人材育成】 信州フォレストコンダクター(SFC)活動支援事業	里山を活用した地域づくり～、森林の管理、木材の出荷・利用等にわたり、経営感覚を持ちながら総合的な視野で地域の林業・木材産業を指揮する「信州フォレストコンダクター」(SFC)の活動を支援する。	4 名 [県執行]	4 名 [県執行]	100%	
<b>里山と人との絆づくりを進める取組の促進</b>					
活用事業 3	【県民参加】 みんなで支える森林づくり推進事業	第三者機関による森林税活用事業の成果の検証、各種広報媒体を活用した森林税の広報、普及啓発活動を実施	1 回 [県執行]	2 回 [県執行]	—
	【企業参加】 森林の里親促進事業	企業等の社会貢献活動の一環としての森林づくりや、森林を活用しての社員研修・福利厚生のもととして利用していただくため、企業等と地域の連携を図り、森林の活用と交流を通じた新しい形での森林づくりを進める。	13 件 [県執行]	14 件 [県執行]	—
	【学習活動】 木育推進事業	森林や地域材を活用し、木育活動をとおして、森林づくりの意識の高揚を図る。 事業主体：市町村、学校、NPO 法人、公共的団体等	2 件 [500]	3 件 [930]	150% [186%]
	【里山利用】 里山活用推進リーダー育成事業	林業技術を有する団体が地域に働きかけ、技術指導等を実施するなかで、地域のリーダーを育成し、継続的に活動できる地域づくりを進める。 事業主体：林業研究グループ、林業士会、NPO 法人等	1 件 [300]	3 件 [1,294]	300% [431%]
計		[43,500]	[46,600]	107%	

※ 実績計画欄の下段[ ]書きは、補助金額(単位：千円)

活用事業 1 求められる機能に応じた里山等の森林づくりの推進

(1) みんなで支える里山整備事業（間伐支援）

事業の趣旨：小規模・分散的で手入れの遅れた集落周辺の里山林の機能回復を重点的に進めるため、地域ぐるみで間伐等の森林整備を面的に推進

事業主体：市町村、森林組合、NPO法人 等

対象森林：集落周辺の森林及び水源を保全する森林で、市町村が認める以下の森林

- ① 10年以上整備が放置され機能回復が必要な市有林で、整備面積が1ha以上の団地的なまとまりのある森林
- ② 森林所有者と市町村で水源林保全のための協定を締結した里山と奥山が混在した森林
- ③ 森林税を活用して公有林化を行った森林

事業内容：保育（切捨て）間伐

- ・対象年齢 概ね60年生以下（適正な密度管理が必要な森林）
- ・採択基準 ①の場合、地域振興局長と森林所有者の間で20年間の協定 ②の場合、地域振興局長と森林所有者または市村長の協定
- ・補助率 標準単価に対し9/10以内

H29 実績	市村名				計
	松本市	塩尻市	安曇野市	筑北村	
団地数	1	1	1	1	4
間伐面積	10.94	18.14	11.09	8.15	48.32
補助金額	3,184千円	5,195千円	3,230千円	2,334千円	13,943千円

(2) 地域で進める里山集約化事業

事業の趣旨：区、集落等の地域が主体となり、集落周辺の里山の森林所有者から親臨整備の同意を得る取組に支援

事業主体：自治会組織、森林組合、生産森林組合等

事業内容：森林整備予定区域、作業道開設地等の森林所有者からの施業同意取得

- ・採択基準 原則として森林税による森林整備実施区域（翌年度末までに森林整備が完了）
- ・補助率 定額（同意取得面積1ha当たり15,000円から30,000円）

※松本地域では、森林整備に当たり必要となる集約化については、森林経営計画で実施しているため、当事業に該当する実施地なし

### (3) 森林づくり推進支援金

事業の趣旨：地域における住民の意向や実情等、地域固有の課題に対し、市町村と連携してきめ細かな森林作り活動の取り組みを支援

事業主体：市町村

事業内容：地域のニーズに対応した森林作り関連事業に係る経費

・補助率 10/10以内（施設整備は2/3以内）

事業項目：① みんなの暮らしを守る森林づくり

② 木を活かした力強い産業づくり

③ 森林を支える豊かな森林づくり

項目	市村名	松本市	塩尻市	安曇野市	麻績村	生坂村	山形村	朝日村	筑北村	計
①	事業数	1件		2件	1件	1件	1件		1件	7件
	補助金額	7,232千円		4,066千円	711千円	983千円	722千円		1,435千円	15,149千円
②	事業数			1件				1件		2件
	補助金額			500千円				700千円		1,200千円
③	事業数		1件	1件			1件			3件
	補助金額		3,330千円	350千円			313千円			3,993千円
計	事業数	1件	1件	4件	1件	1件	2件	1件	1件	12件
	補助金額	7,232千円	3,330千円	4,916千円	711千円	983千円	1,035千円	700千円	1,435千円	20,342千円

### (4) 水源林公有林化支援事業

事業の趣旨：市町村が行う水源林の公的管理を図る上で、土地等の取得が必要になった場合の土地取得経費及び必要な測量経費の支援

事業主体：市町村

事業内容：市町村が森林内の水源地及び水源林の公的管理を図る上で必要となる土地の取得に対し支援

・補助率 10/10以内（上限額1,000万円/市町村）

## 活用事業 2 間伐材等の利活用による継続的な森林づくりの推進

### (1) みんなで支える里山整備事業（搬出支援）

事業の趣旨： みんなで支える里山整備事業のうち、間伐材を土場まで搬出・集積する作業に支援

事業主体： 市町村、森林組合、NPO法人 等

対象森林： みんなで支える里山整備事業で実施した森林

事業内容： みんなで支える里山整備事業で実施した森林からの間伐材の搬出集積

- ・採択基準 県内で加工または消費が確実な間伐材であること

- ・補助率 定額 3,500円/m<sup>3</sup>

	市村名	塩尻市	計
H29実績	搬出材積	26m <sup>3</sup>	26m <sup>3</sup>
	補助金額	91千円	91千円

### (2) 信州の木活用モデル地域支援事業（公募事業・県審査）

#### ア 信州の木活用モデル地域支援事業

事業の趣旨： 地域主体となり、里山の森林資源を木質バイオマス利用や商店街の木質化、道の駅等での販売などに活用する先進的なモデル地域を支援

事業主体： 市町村、公共的団体、林業関係団体、NPO法人 等

事業内容： 供給から消費まで地域が一体となって取り組む事業に支援

- ・対象内容 住民自主参加型、都市部活用型 等

- ・採用基準 提案書を提出し、選定会議等で審査を行い、先進的なモデルを優先して採択する

- ・補助率 10/10以内（上限額：2,500千円/地域）

	市村名	事業主体	事業内容	事業費	補助金額
H29実績	塩尻市	(一社)塩尻市森林公社	市役所市民ホールの子育て応援木育キッズサークル1基を設置	2,684千円	2,500千円
	塩尻市	木育全国生産者協議会	店舗・居室等木質化キットの開発	3,509千円	2,500千円
	安曇野市	安曇野材利用促進PJ	木材市の開催、ミニハウス等製作	2,650千円	2,500千円
	計			8,843千円	7,500千円

### イ 松くい虫被害木の木質バイオマス燃料等への活用モデル事業

事業の趣旨：放置されている松くい虫被害木を地域が主体となり木質バイオマス燃料等に資源化して活用するモデル的な取組を支援

事業主体：市町村、公共的団体、林業関係団体、NPO法人 等

事業内容：被害木の伐採搬出からチップ化及びその活用について、評価・検討を行い、新たな松くい虫対策としての可能性を検証する

- ・対象内容 地域分散型木質バイオマス等利用促進モデル
- ・採用基準 提案書を提出し、選定会議等で審査を行い、先導的なモデルを優先して採択する
- ・補助率 10/10以内（上限額：2,500千円/地域）

	市村名	事業主体	事業内容	事業費	補助金額
H29実績	松本市	松本広域森林組合	道路、通学路沿いの被害木の伐採からチップ化までの工程の検証	2,778千円	2,500千円

### (3) 信州フォレストコンダクター（SFC）活動支援事業（経費は県執行）

事業の趣旨：各地域の林業・木材産業を、経営感覚を持ち総合的な視野で指揮する人材（信州フォレストコンダクター）が行う活動基盤づくりを支援  
人材育成：H25からH27に育成された30名（松本地区では3名）のSFCを育成

（現在、松本地区のSFCは、松本地区の3名と全県枠で育成された1名を合わせて4名）

事業内容：地域の林業・木材産業を関係者と連携して活動するため、当面は県と連携してSFCの活動の基盤づくりを支援する

	活動内容		事業費	備考
H29実績	<p>松本地区で生産された木質バイオマス用材が使われている富山県射水市の発電所「グリーンエネルギー北陸」を視察し、どのように利用されているか、どのような材が求められているのか調査・事例研究を行う。 また、同市にある「ウッドリンク(株)」では、工法の提案等、積極的にエントリユーターに対する取組を展開している。これを視察し、川下に対する共通認識を得る機会とする。 参加SFC 4名（うち1名は北アルプス振興局管内から参加）</p>		40030円	<p>松本管内で育成したSFC4名のうち1名は、北アルプス振興局管内事業体と連携して活動</p>

### 活用事業 3 里山と人との絆づくりを進める取組の促進

#### (1) みんなで支える森林づくり推進事業

第三者機関による森林税活用事業の成果の検証、各種広報媒体を活用した森林税の広報・普及啓発活動を実施

事業内容		事業費	備考
H29実績	イベント等の際に森林税関係PRパネルを展示（6回） みんなで支える森林づくり地域会議の開催（2回）		

#### (2) 森林（もり）の里親促進事業

荒廃した里山や山村集落へ県が仲立ちとなり、企業等の社会貢献活動を促進し、森林整備と交流を通じた地域活性化を実施  
契約締結数 県内127件、松本地区21件（継続中14件）

No.	企業名（里親）	森林所有者（里子）	当初契約	終了年度	契約面積	備考
1	ダイドードリンコ株式会社	朝日村	H15	H35	30 ha	
2	ティエンズジャパン株式会社	生坂村	H20	H30	100 ha	
3	長野県ホンダ会	松本市奈川入山町会	H21		35 ha	単年度毎自動更新
4	GE富士電機メーカー株式会社	安曇野市	H21	H30	32 ha	
5	株式会社アスピア	山形村	H23	H30	5 ha	
6	東京海上日動火災保険株式会社	一期会	H24	H29	4 ha	
7	社会医療法人財団 慈恵会 相澤病院	朝日村三区生産森林組合	H25	H31	742 ha	H29 更新
8	松本信用金庫	松本市岡田財産区	H25	H30	4.58ha	
9	株式会社八十二銀行	松本市本郷財産区	H26	H33	245 ha	H30 更新予定
10	ミサワホーム株式会社	松本市（奈川地区）	H26	H33	6.9 ha	H30 自動更新
11	生活協同組合コープながの	非営利活動法人森林薬部21	H26	H33	3.0 ha	H30 更新予定
12	酒井産業株式会社	塩尻市	H27		1.3 ha	単年度毎自動更新
13	大建工業株式会社	塩尻市北小野財産区	H27	H30	36.77ha	
14	株式会社損害保険ジャパン	寿さと山くらぶ	H29		10.31ha	単年度毎自動更新

### (3) 地球温暖化防止吸収源対策推進事業

森林（もり）の里親促進事業により環境先進企業等が整備した森林のCO2吸収量を認証し、地球温暖化防止の取組みを推進

### (4) 地球温暖化防止木材利用普及啓発事業

県産材住宅の施主や、事務所・店舗を木質化した企業等に対し、県産材利用によるCO2固定量を認証し、地球温暖化防止の取組みを推進

### (5) 木育推進事業

事業の趣旨：次世代を担う子供たちや地域住民が里山や地域の木材に目を向け、森林づくりへの理解と協力を得るための取組みに支援

事業内容：① 木育活動型

・対象内容 身近な森林からの材を活用して児童が学びながら行う木育活動への支援

・補助率 10/10以内（上限額：50万円）

② 木育推進員活動支援

	市村名	事業主体	事業内容	事業費	補助金額
H29 実績	松本市	松本養護学校PTA	木製品再生体験活動	200千円	200千円
	安曇野市	安曇野市	松枯れ材を活用したワークショップの開催	654千円	486千円
	安曇野市	安曇野市	学童用机・椅子のメンテナンス	244千円	244千円
	計			1,098千円	930千円

### (6) 里山活用推進リーダー育成事業

事業の趣旨：林業研究グループ等が地域に働きかけ技術指導等を実施する中で、継続的に里山資源を活用できる地域づくりを推進

事業主体：林業研究グループ、林業士会 等

事業内容：里山整備及び資源の活用に関する指導及び地域リーダーの育成等に要する経費への支援

① 森林づくり、② 里山資源の活用、③ 地域づくり

補助率：10/10以内

	市村名	事業主体	事業内容	事業費	補助金額
H29 実績	松本市	やまんぼものつげ姫たちの会	地域の里山のグラウンドデザインの作成とリーダー育成	578千円	500千円
	塩尻市	松本林業士会	雑木の整備や特用林産物生産の検討に関する研修及びリーダー育成	304千円	303千円
	生坂村	森林再生舎	竹林管理・整備方法の研修	491千円	491千円
	計			1,373千円	1,294千円